



太子町マスコットキャラクター
たいしくん

平成28年3月発行
太子町総務室総務政策グループ
大阪府南河内郡太子町山田88
電話 0721-98-0300
FAX 0721-98-4514

地方創生

太子町人口ビジョン



太子町まち・ひと・しごと創生総合戦略

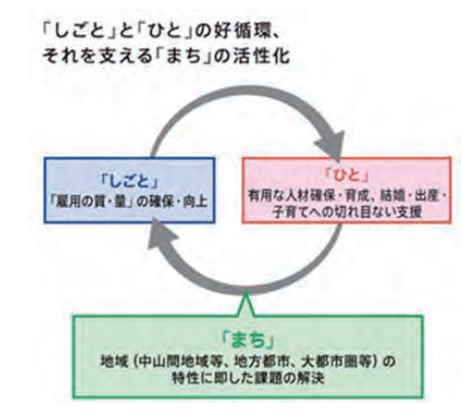
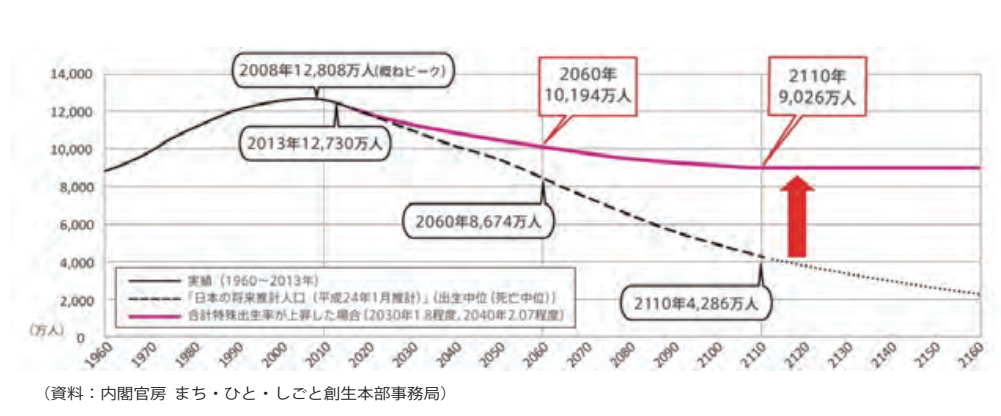
概要版

大阪府・太子町
平成28年3月

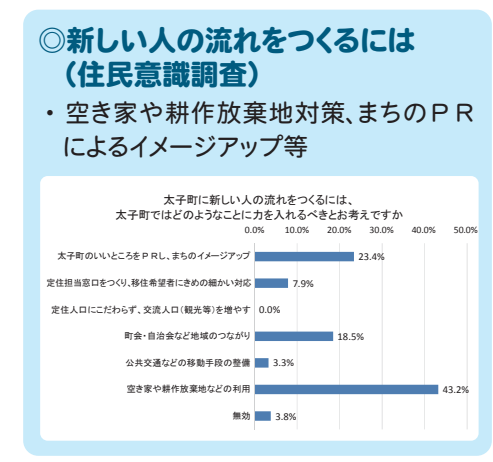
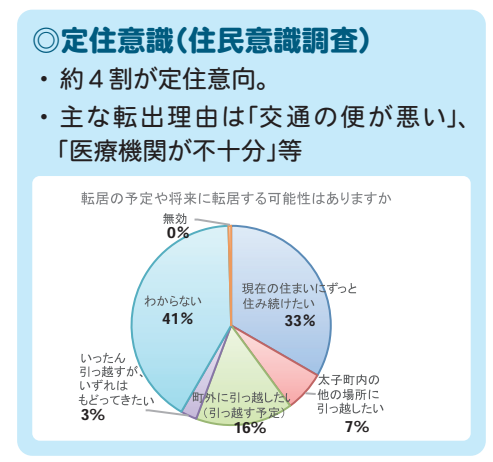
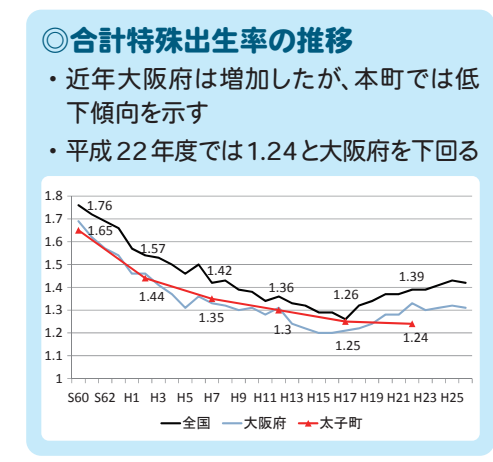
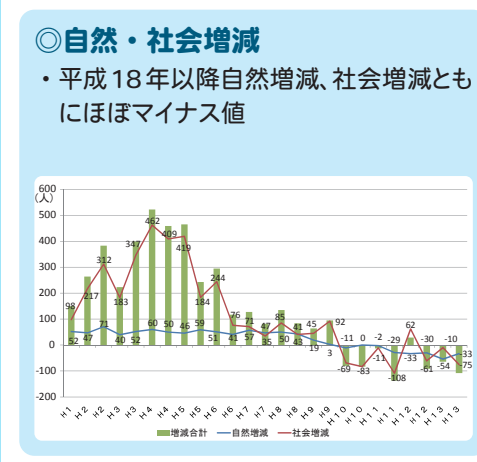
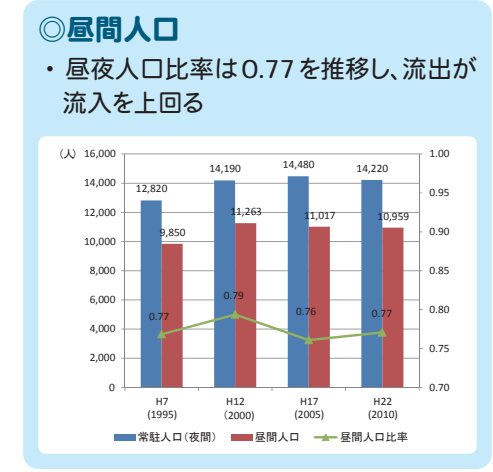
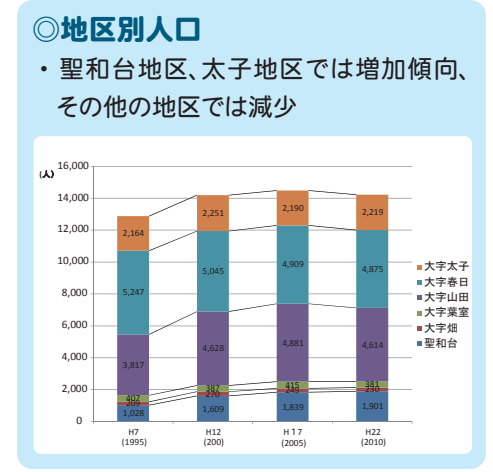
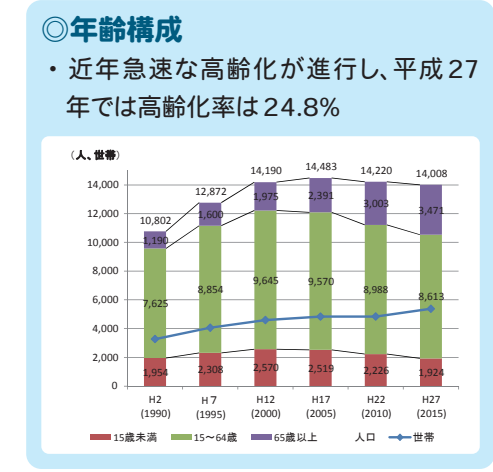
太子町人口ビジョンの概要

1 国の長期人口ビジョン

- 国の長期ビジョンでは、国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、平成72年(2060年)には1億人程度の人口を確保することとしています。
- そのためには、①人口減少と地域経済縮小の克服、②まち・ひと・しごと創生と好循環の確立を基本的な考え方としています。



2 太子町の人口分析・住民意識調査



3 人口の変化による影響

太子町は、現在の状況が続けば、出産子育て世代の女性の人口の減少により年少人口・生産年齢人口をはじめ、総人口も減少が予想されます。一方、高齢人口は増加傾向をたどりますが、将来的には減少に転じます。これは少子高齢化が進行すると同時に町全体が人口減少サイクルに陥り、町の活力が衰退していくことを意味します。

産業

◎商工業

雇用の喪失等による地域経済の縮小。生産年齢人口減少による、労働力不足。

◎農業

高齢化や担い手不足による生産量の低下。

福祉・教育

◎福祉

介護費用や保険給付などの福祉関連の扶助費の増大により、町財政が圧迫。

◎教育

既存教育施設(学校)の統廃合や校区の見直し。

まちづくり・財政

◎まちづくり

防犯や防災など地域コミュニティ機能の維持、地域の伝統行事が困難。

◎財政

住民税の弱体化による税収入の減少、医療や福祉の扶助費の増加、行政サービスの低下。

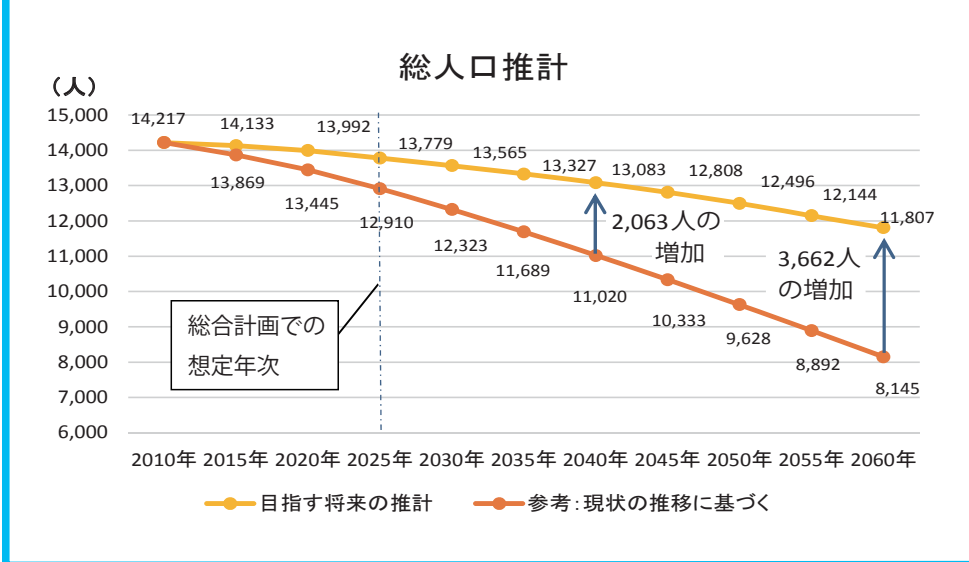
4 地方創生に向けての課題

太子町の人口動向及び住民意識を踏まえると、地方創生へ取り組むために、次のような課題への対応が求められます。

- ①若年層に対する課題**
太子町では、町内で生まれ育った若い世代が、就職や大学進学等を契機として、他都市に転出してしまふことが人口減少の一因となっています。このため、いかにしてこれら若い世代の転出を食い止めるかが課題。
- ②子育て世代に対する課題**
太子町へは新たな子育て世代の転入が見られます。バランスのよい太子町の人口構成の実現をめざしていくためには、いかにして、これらの子育て世代に転入の促進を図るかが課題。
- ③高齢者に対する課題**
人口の多い団塊の世代が高齢化していく中であって、太子町のまちの活力を維持していくためには、いかにして、この団塊の世代が安全で安心でき、元気が維持できる暮らしを実現できるかが課題。

5 将来の人口展望

- 自然増減**
合計特殊出生率の緩やかな回復基調をめざすこととします。
- 社会増減**
交通に関して町内循環バスなど、公共交通の充実、医療機関へのアクセス性の向上を図るなどの解決を図り、社会増減については、当面、純移動の均衡をめざすこととします。
- 将来の人口の見通し**
取り組みの方向性を踏まえ、平成52年(2040年)の将来人口として13,000人を目指すこととします。



太子町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

施策展開の考え方

太子町人口ビジョンを踏まえ、太子町の実情に応じた今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示すもので、その施策の考え方は、年齢層の厚みが多い60歳代後半の第1次ベビーブーム世代(団塊の世代)、40歳代の第2次ベビーブーム世代(団塊ジュニア世代)、40歳代の子ども世代(団塊ジュニアの子ども世代)の3つの世代では、まちづくりに対するニーズも異なっていることから、この3世代をターゲットとして、施策のパッケージ化を行い、中長期にわたって持続可能なまちづくりが実践できる基礎づくりをめざします。

基本的施策の考え方

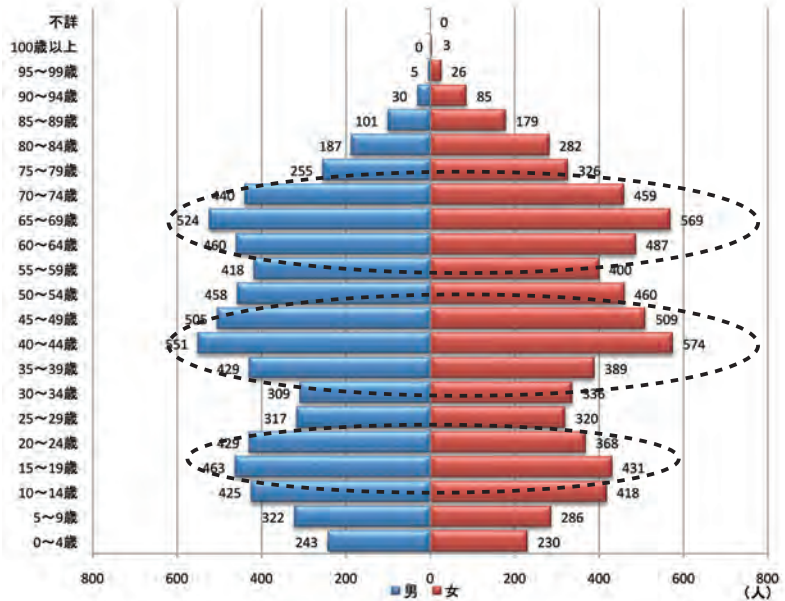
3世代がいきいきと暮らせるまちづくりをめざした施策のパッケージ化

～「産業振興と就労支援」、「出産・子育てと教育」、「健康づくり・生きがいづくり」などの
施策のパッケージ化(施策連動)によるまちづくりの推進～

視点1 就職や大学進学等を契機とした若い世代の転出抑制をめざした産業の振興と雇用の場の創出の実施

視点2 子育て世代の定住と新たな世帯の転入促進をめざした出産・子育て支援、教育施策の実施

視点3 高齢化する団塊世代の元気維持をめざした、健康づくり・生きがいづくり施策の実施



太子町人口ピラミッド

団塊の世代を中心とする年齢層

団塊ジュニア世代を中心とする年齢層

団塊ジュニアの子ども世代を中心とする年齢層

(資料:平成27年1月住民基本台帳)

総合戦略の施策体系

基本目標

基本目標1

産業振興による活力ある地域創造戦略

農空間を守り、商業・交通など生活利便機能向上を図ります。

基本目標2

太子町の情報発信・観光振興による知名度アップと交流人口の向上

太子町の知名度を高め交流人口の向上をめざします。

基本目標3

妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

豊かなこころ、元気な子供を育てます。

基本方針

① 地域経済を支える産業の振興

② 産業の振興と雇用の場の創出

① まちの魅力を活かした交流・観光の推進

① 子育て環境の向上

② 地域とともに育む学校教育の充実

主な施策

①-1 都市農業の振興を図ります

・農地中間管理機構を活用した遊休農地のあっせん
・体験型農業の提供 等

KPI 援農隊参加者数、市民農園の申込者数、太子町ブランド品の開発数

①-2 商工業の活性化を図ります

・「富田林商工会助成等事業による町内商工業の活性化
・太子西条地区地区計画による集客施設の誘導 等

KPI 聖徳市出店数、道の駅販売額

②-1 就労支援の推進を図ります

・能力開発事業による求職者のスキルアップ
・就職面接会等の実施、求職情報の提供、就労相談 等

KPI 就労促進事業などの参加者数

①-1 観光・レクリエーションの振興を図ります

・観光ガイド、各種イベントへの参加
・観光案内サイン及びパンフレットの整備
・道の駅における観光情報の提供、特産品の販売
・竹内街道灯路祭り、聖燈会 等

KPI イベント(聖灯会、灯路祭り)による集客者数

①-1 母子保健活動の充実を図ります

・子どもや未熟児の医療費の助成
・発達段階に応じた各種健康診査の実施、育児・栄養相談の充実
・安全で安心な出産・育児の推進
・乳幼児の健康管理や育児相談・教育などの実施

KPI 4か月・3歳6か月児検診受診率、乳児家庭訪問実施率、育児教室実施回数

①-2 子育て家庭の支援を進めます

・子育て支援センターの充実
・延長保育、休日保育の継続実施
・放課後児童会の充実 等

KPI 子育て支援センター利用者数、放課後児童会待機児童数

①-3 すべての子どもたちが尊重されるまちづくりを推進します

・ひとり親家庭に対する医療費の助成、相談体制、就労相談の充実
・母子・寡婦への福祉相談指導 等

KPI ひとり親家庭相談件数、発達障がいなど巡回相談者数

②-1 元気な子どもを育てる学校づくりを進めます

・校舎等の維持管理、時代のニーズに応じた施設整備
・総合学校支援事業によるいじめ、不登校などの問題への対応
・教育の情報化推進、使える英語プロジェクトの推進
・町立幼稚園入園料・保育料の補助、私立幼稚園への就園奨励、助成

KPI 不登校者率、英検合格者率

②-2 学校と家庭、地域と一体となった教育活動を進めます

・学校防犯対策事業

KPI 学校安全ボランティア活動団体数(見守り隊)

※ **KPI** KPI値とは、目標達成度合を測る指標となるもの。

